

I 目指す学校像（基本理念）

◇ 一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす

- 1 一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- 2 一人ひとりの自立や社会参加をめざした小中高一貫性のある教育の構築
- 3 一人ひとりの人権を大切にしたい、他者を尊重し、助け合う人間関係の育成
- 4 健康でのびのびと活動できる安全・安心な学習環境の整備
- 5 教職員間の対話・会話を大切にしたい組織力の向上
- 6 共生・共学の実現

II 現状と課題

1 現状

これまで本校は、鈴鹿病院に入院している児童生徒を対象とした教育に取り組んできた。平成20年度より鈴鹿、亀山地域の特別支援学校の拠点校として地域のニーズに対応するため、新たに知的障がいの教育部門を設置し、鈴鹿市、亀山市在住の児童生徒を対象に通学生を受け入れた。

さらに、平成22年度より県立石薬師高等学校内に石薬師分校を開設し、高等部の知的障がいの課程を開校した。

2 課題

- (1) 小中高の一貫した教育内容の整備が必要である。
- (2) 高等部の情報が小中学部の保護者に十分伝わっていないなど、保護者や地域への情報発信に課題がある。
- (3) 本校と分校とがあり、各学部で四つの課程があることから、校内の連携や情報共有が十分にできていない。
- (4) 一貫性のあるキャリア教育、地域等と連携したキャリア教育を実施する必要がある。
- (5) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすうえで、保護者や地域、高等学校等との連携を深めていく必要がある。
- (6) 児童生徒の増加によりトイレや教室が不足するなど学習環境の整備が急務である。
- (7) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る必要がある。

III 中長期的な重点目標

- (1) 小中高の一貫した教育内容の整備を行う。地域と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。
- (2) 保護者や地域への情報発信を積極的に行う。
- (3) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。
- (4) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、保護者や地域、高等学校等との連携を深める。
- (5) 安心・安全な学習環境の整備に努める。
- (6) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。

IV 行動計画

- (1) 小中高の一貫した教育内容の整備を行う。
地域と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。

<進路を見通した教育活動・地域との連携>

- ① 児童生徒の卒業後の進路を見通した教育活動を行えるよう教員へ研修等の機会を作る。(進路部)
【達成状況の指標】
(ア) 夏季研修を1回、保護者研修(分校共催)を1回実施し、事業所や卒業生から話を聞く機会を作る。
(イ) 県の事業も利用し、地域の事業所へ見学に行ける機会を作る。教職員の3分の1の参加。
(ウ) アセスメントシートを1学期中に実施し修正意見などを集約し、改訂を行う。

<小中高の連携>

- ② 在籍する児童生徒の多様な障がいの状態に応じた教育が行われるように、基盤となる教育課程の整備、改定を行う。(教務部)
【達成状況の指標】 各学部、課程で現状の問題点を挙げ、必要な改定を行う。その際、他学部の教育課程にも目を通し、小中高一貫した教育課程となっているかどうかという観点も加える。12月までにすべての学部、教育課程で実施する。
③ 個別の教育支援計画の効果的な活用を図る。(支援部)
【達成状況の指標】 中学部、高等部進学時に、個別の教育支援計画に基づいた引き継ぎを行う。

<課程別の連携>

- ④ 全校で、教育課程BCD別に、履修する児童・生徒の担任が学部を越えて集まり教育内容や教育支援について情報を交換し研修する機会を設ける。(研修部)
【達成状況の指標】 年2回の研修会を設定・開催する。その際、分校と連携を取り合い、分校教職員の参加を呼びかける。

- (2) 保護者や地域への情報発信を積極的に行う。

- ① 学校の情報を学校便りとして発信する。分校の様子も含めて情報発信をして保護者への理解を深める。(運営委員会)
【達成状況の指標】 学期に1回発行する。
② 進路便りを発行する。(過去2年ほどの進路状況、職場実習の様子を報告など)(進路部)
【達成状況の指標】 学期1回発行する。
③ 学校ホームページを充実させ校外へ情報発信を行う。(情報部)
(ア) 学校ニュースを月ごとに更新する。
【達成状況の指標】 75%以上達成。
(イ) 学部ページを充実させる。
【達成状況の指標】 各学部年2回更新。

(3) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。

- ① 学校全体の諸問題に関わる課題を明らかにし、解決に取り組む。(運営委員会)
【達成状況の指標】月2回実施する。
- ② 教職員の人権感覚を高める研修を行う。(人権・交流部)
【達成状況の指標】基本的には外部の講師の方を招き、専門的かつ具体的な内容で2回以上研修会を行う。
- ③ 病棟児童生徒の学習活動が充実したものとなるように病棟関係者との連携を深める。(指導部)
【達成状況の指標】病棟関係者との話し合いを実施する。(新担当者会：4月、生徒指導懇談会：学期末、杉の子連絡会：月1回、ひまわり連絡会：月1回)

(4) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、保護者や地域、高等学校等との連携を深める。

- ① 教育相談、就学相談などの地域支援事業を随時行う。(支援部)
【達成状況の指標】利用者に対してアンケートを行い、その満足度70%以上。
- ② 本校中学部卒業生の分校高等部へのスムーズな移行を支援するために本校と分校との連携を深める。(進路部)
【達成状況の指標】
(ア) 本校卒業生の連絡会を2回実施する。(4月11日実施済、夏休みに1回予定)。
(イ) 中2で分校見学会(5月、6月)、中3で分校体験(6月)を実施する。
- ③ 学校間交流及び居住地校交流を充実させる。(人権・交流部)
【達成状況の指標】交流相手校の職員対象に杉の子への理解を深めるための資料を作成する。

(5) 安心・安全な学習環境の整備に努める。

- ① 学校安全計画を作成し実践する。(総務部)(運営委員会)
【達成状況の指標】本年度中に内容を整備し、学校安全計画の作成を完了させる。

(6) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。

- ① 防災委員会を設置する。
雨天時・寒冷時の避難場所や新館2階からの避難方法・登下校時の避難方法及び校内の設備点検など、昨年度の防災訓練を受けての課題について検討する。(総務部)
【達成状況の指標】年間2回の避難訓練を実施する。課題について、防災委員会で検討しマニュアルに反映させる。職員研修を実施する。1学期は本校の防災設備とマニュアルの確認について、2学期は図上訓練と緊急時の具体的な対応についての研修を計画実施する。

(7) 学校運営の効率化を図り、勤務時間の縮減に努める。

- ① 行事の精選と分掌間の連携の強化による学校運営の効率化向上をめざす。(学部長会)(運営委員会)
【達成状況の指標】過重労働時間の1割短縮

□枠内は 3年計画
各項目は 1年計画